

サポート

NO. 136号

平成28年12月21日発行
県教育庁特別支援教育課 指導班

「地域に根ざしたキャリア教育」の一層の充実を目指して

平成28年度キャリア教育実践研究協議会

平成28年11月14日（月）、県総合教育センターを会場に、「キャリア教育実践研究協議会」が開催されました。県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、市町村教育委員会関係者485名が参加し、先進的なキャリア教育の実践発表や協議、情報交換等が行われました。

特別支援学校の実践発表は、稲川支援学校が行いました。「地域から学んだことを生かして」と題して、高等部の職場実習や作業学習の実践、地域との交流活動について紹介しました。地場産業である川連漆器を扱う工芸班の取組については、参加者が特に興味深く聞き入っており、昼休み中には、講堂入口に展示した作業学習製品を手にしながら会話をしている様子が多く見られました。

稲川支援学校は、平成27年度特別支援学校職域開拓促進事業の推進校に指定され、質の高い職業教育を実践しており、その成果も反映された発表内容となっていました。

午後の特別支援学校分科会では、「障害の重い幼児児童生徒のキャリア発達を促す指導の在り方」についてグループ別協議を行いました。次期学習指導要領を見据え、各校の課題と現状を出し合い、在籍する全ての幼児児童生徒のキャリア教育を一層推進するための方策や大事な視点について確認しました。



発表者の稲川支援学校 高等部2年 須原優奈さん（左）と 高等部1年 井川巧望さん（右）

祝！栗田支援学校創立30周年記念式典

栗田支援学校の前身は、昭和48年に高清水学園、若竹学園、秋田市南浜学園に設置された3分教室です。昭和55年に統合されて秋田養護学校栗田分校となり、昭和61年に栗田養護学校として独立開校しました。現在の児童生徒数は250人で、県内一の大規模校となりました。

記念式典は、11月3日に、120名の来賓を含め700名で執り行いました。式典の中で、本校を支えてくださっている5団体（秋田市大森山動物園、新屋西やすらぎクラブ、医療法人久幸会、株式会社友愛ビルサービス、公立大学法人秋田公立美術大学）に表彰状を贈呈し、引き続きのご支援をお願いしました（写真右上）。

第二部では、伝統の鹿嶋船運航、小学部1年生による「栗田げんき太鼓」、高等部3年生に引き継がれている「栗田祝い太鼓」を披露しました。学校教育の入口と出口の学年による太鼓演奏を見て、多くの方が教育の成果を感じ、また教育への期待をもたれたとのことでした。

参加者には、記念品として、作業学習で中学部・高等部生が力を合わせて製作したドリンクホルダー、トンボ玉ストラップ、しおりのほか、「Café くりた」のロゴ入りのコーヒードリップバッグを差し上げました。

創立30周年を機に、新たな取組として、栗田定之丞の砂防植栽を受け継ぎ、黒松の育苗を通して公益の精神も育成したいと考えています。
（教頭 佐藤 淳）



高等部3年生による「栗田祝い太鼓」



記念品

おめでとうございます

文部科学大臣教育者表彰



天王みどり学園の遠藤邦子校長が、長年の功績が認められ「文部科学大臣教育者表彰」を受賞されました。

おめでとうございます。

第35回肢体不自由児・者の美術展

社会福祉法人日本肢体不自由児協会主催の「第35回肢体不自由児・者の美術展」において、秋田きらり支援学校の中学部3年の竹村拓晃さんが「NHK 厚生文化事業団賞」、高等部3年の小野寺柚さんが「全国肢体不自由特別支援学校PTA 連合会賞」を受賞しました。

おめでとうございます。



小野寺さんの作品
「笑」



竹村さんの作品
「あつあつラーメンどうぞ」